



# 分科会

## 資料



# 『遠州地域のものづくり産業の現状と 中小企業支援について』

平成26年10月27日(月)

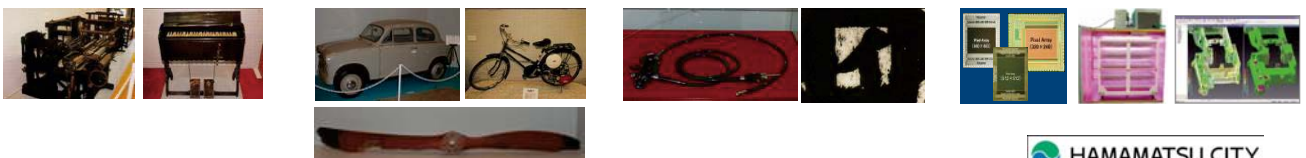
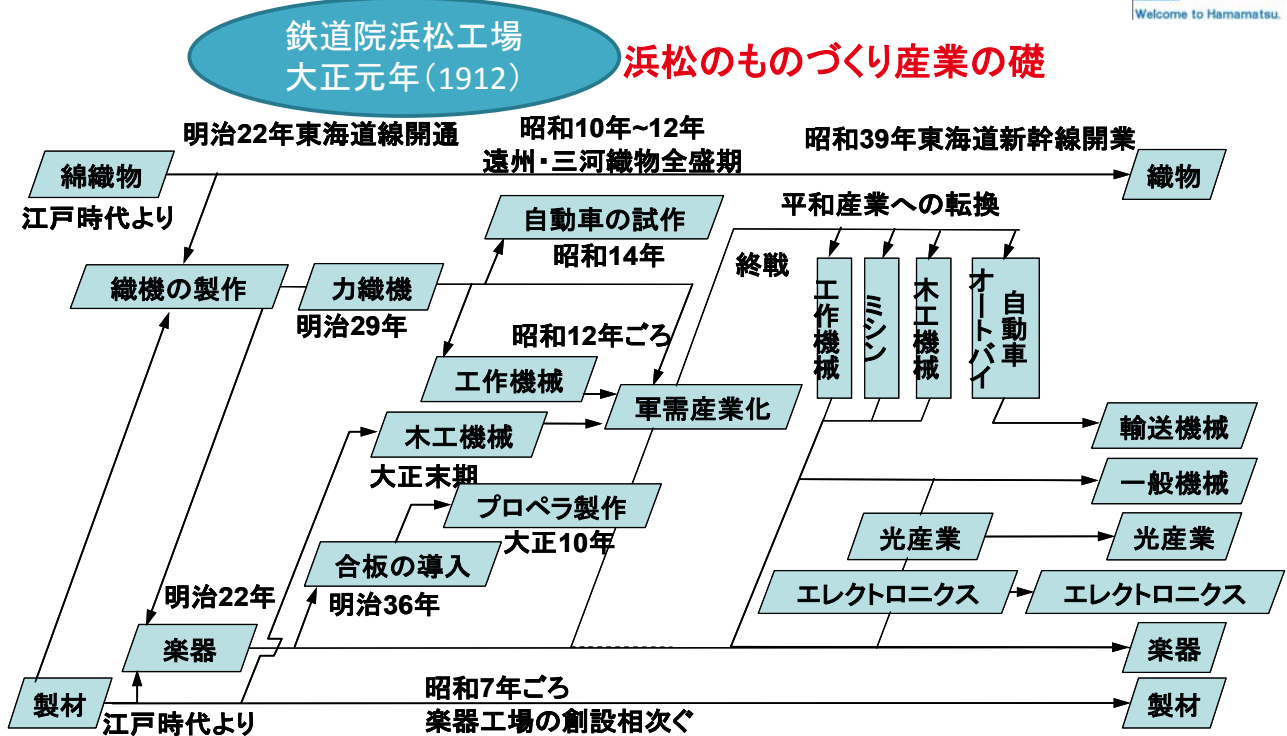
浜松市産業部長 安形秀幸



出世の街 浜松



## 浜松地域の産業発展の系譜



# 遠州地域の産業の状況

## 輸送用機器を中心とした製造業が集積

遠州地域8市1町の合計  
 ※平成24年度 工業統計調査  
 ( ) 書きは平成25年度の速報値

### 事業所数

- ① 輸送用機器 811事業所 (4,130事業所)
- ② 金属製品 485事業所
- ③ 生産用機械器具 449事業所

### 従業者数

- ① 輸送用機器 63,475人 (185,359人)
- ② 電気機械器具 21,206人
- ③ プラスチック製品 11,673人

### 製造品出荷額等

- ① 輸送用機器 3兆4,766億円 (8兆1,388億円)
- ② 電気機械器具 1兆77億円
- ③ 飲料・たばこ・銅料 7,844億円

※遠州地域をまとめると、豊田市に次ぐ規模



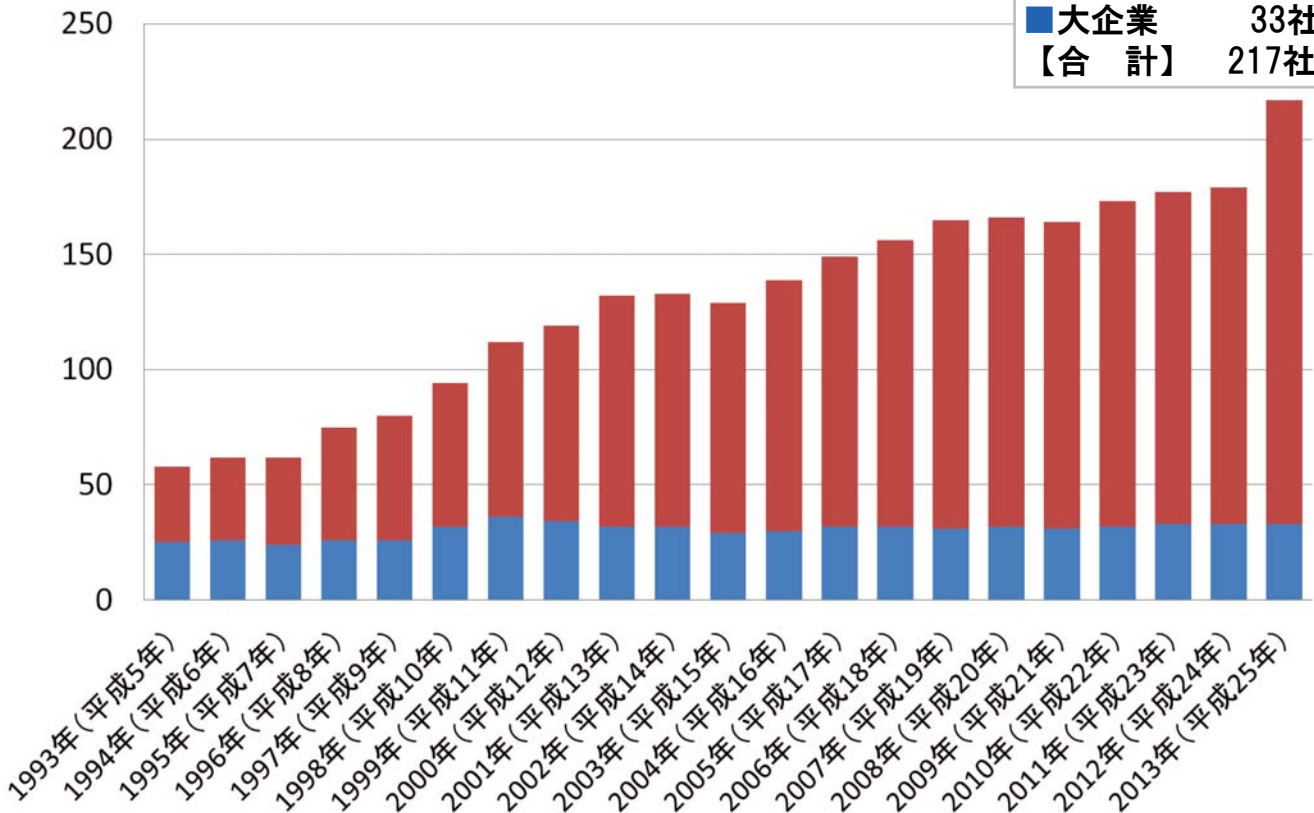
【参考】市町村上位3傑（製造品出荷額）

順位	市町村	製造品出荷額
1	豊田市	120,888億円
2	市原市	42,851億円
3	横浜市	42,736億円
※参考		
14	浜松市	20,852億円
21	磐田市	17,215億円
23	湖西市	16,838億円

HAMAMATSU CITY

## 遠州地域企業の海外展開の状況

2013年（平成25年）  
 ■ 中小企業 184社  
 ■ 大企業 33社  
 【合計】 217社

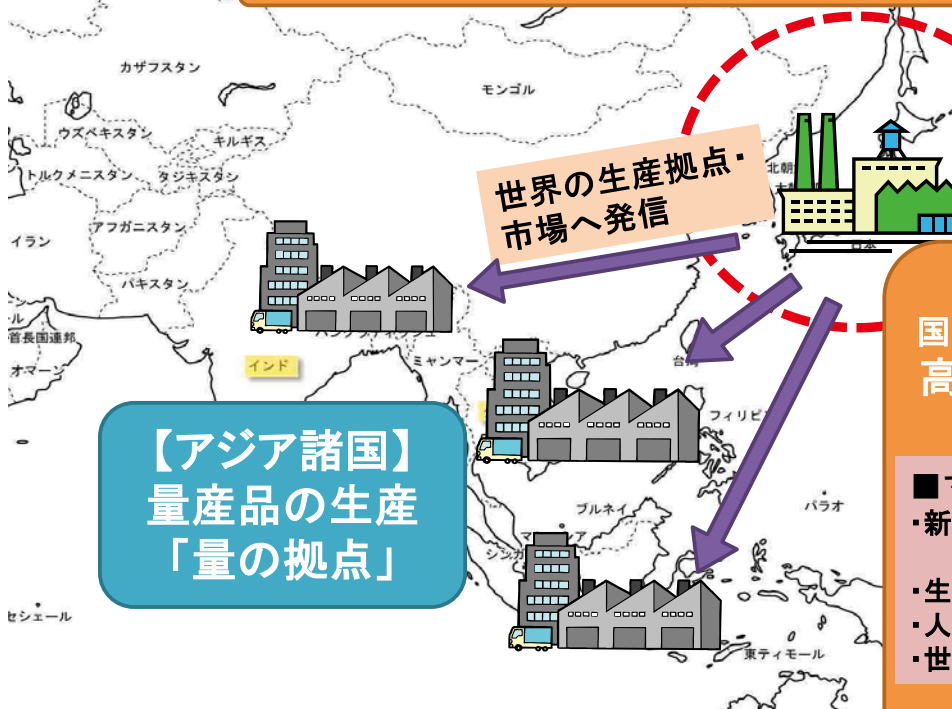


資料：静岡県西部地域しんきん経済研究所

HAMAMATSU CITY

# 地域産業の空洞化、対応策

【課題】 国内生産の頭打ち、新たな成長市場の創出



【日本国内】  
国内消費財の生産(低コスト)  
高付加価値製品の生産  
マザー機能

- マザー機能の内容
- ・新たな付加価値の創造  
研究開発、市場の検討
  - ・生産技術の確立、シミュレーション
  - ・人材育成、技能伝承
  - ・世界の生産拠点・市場への発信

※国内外の情報集約

経営戦略	企画・マーケティング	研究開発	製品開発
生産技術	試作	設計	人材育成

【日本国内】新成長市場の創造、  
受注の拡大 ※重要！

## 浜松市の取組み(はままつ産業イノベーション構想)

Welcome to Hamamatsu.

### 戦略① これからの成長市場・新産業の創出

#### 成長6分野への重点支援

- 次世代輸送用機器産業、健康・医療産業、新農業、光・電子産業、環境・エネルギー産業、デジタルネットワーク・コンテンツ産業を新リーディング産業に位置付け
- 研究開発費の助成

—構想の目標—  
産業イノベーション都市・はままつ



産業支援の3本の矢

- ①新産業の創出
- ②企業立地支援
- ③海外進出支援

### 戦略② オープン・イノベーションの推進

地域内外の様々な資源の結集による  
オープン・イノベーション

- 浜松・東三河ライフフォトニクス・イノベーションの推進
- 浜松医工連携拠点の推進

### 戦略③ 企業力向上支援

企業の経営資源の強化を支援

- 海外展開支援  
ジェトロ浜松の誘致、海外進出FS調査、海外見本市への出展など
- 人材育成事業、研究会活動  
新素材(CFRP・チタン)活用など
- 知的財産活用
- 資金調達支援  
融資制度、地域ファンドなど

### 戦略④ 企業立地支援

戦略的な外発型の企業誘致

- 新・ものづくり特区の推進  
農業と工業のバランスある土地利用の実現
- 企業立地に対する大型助成  
用地取得や設備投資に対する助成  
固定資産税等への助成

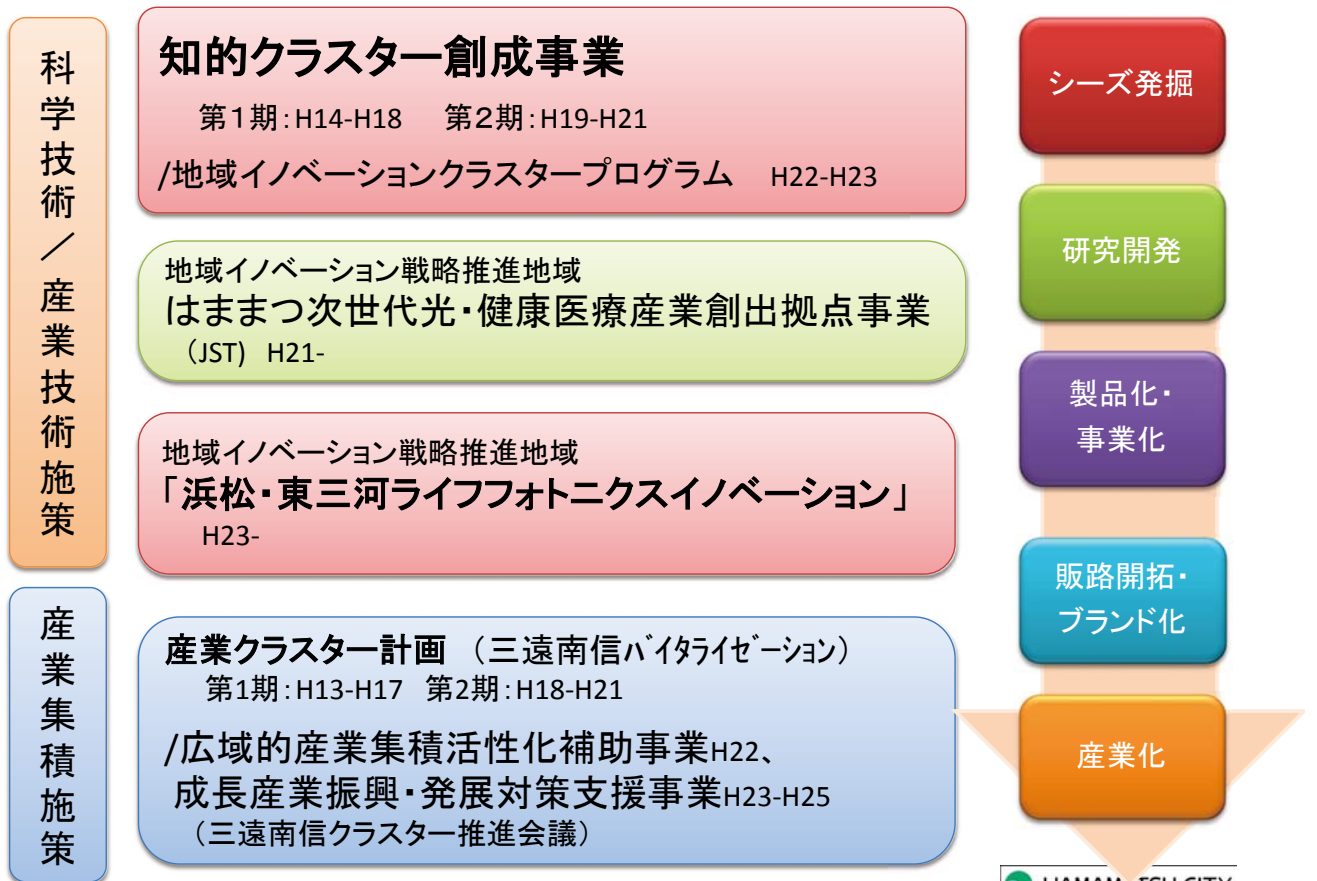
# 県境を越えた三遠南信広域連携

>Welcome to Hamamatsu.



## 三遠南信地域で取り組んできた広域連携事業

>Welcome to Hamamatsu.



## 地域の取り組みから生まれた事業化例 ①

医工連携、知的クラスター創成事業の現場から生まれた製品事例

Welcome to Hamamatsu.



### 鼻科専用 内視鏡手術用ナビゲーション装置

「安全で確実な内視鏡手術を実現したい」という医療ニーズから、文部科学省知的クラスター創成事業(第1期)のテーマとして産学連携による研究開発を開始。浜松医科大学の他、(株)アメリオの「優れた3次元形状処理・通信制御ソフト技術」とパルステック工業(株)の「3Dスキャナ製造技術」との連携により経済産業省の支援を受け具体化し、販路とニーズを有する東京都の医療機器メーカーの永島医科器械(株)が製品化。光学式3次元スキャナによる計測で自動的な位置合わせと、患者に標識を付けなくても動きに追従する、世界初の内視鏡手術ナビゲーション装置。

### デジタル喉頭ストロボ



浜松医科大学と(株)エヌエスティー、(株)ソディアック、医療機器メーカーの永島医科器械(株)が、経済産業省の支援を受け、共同で開発。音と光制御の技術を活用し、人体で最も速く動く声帯の動きを録画し、評価できる喉頭観察内視鏡システム「デジタル喉頭ストロボ光源」を製品化。喉頭観察内視鏡システムは、声のかすれや発生困難など音声障害の治療を行なう「耳鼻咽喉科の音声外来」などで使用されるもので、1秒間に100回以上の周期(100ヘルツ以上)で振動する声帯の動きを観察できる品質が要求されるもので今後は、低価格でコンパクトな普及型製品として、耳鼻咽喉科などの診療施設への導入が期待される。

HAMAMATSU CITY

## 地域の取り組みから生まれた事業化例 ②

浜松市の研究開発費の助成の成果から生まれた製品事例

Welcome to Hamamatsu.



### マルチマテリアル超軽量車いすの開発

二輪車のまち・浜松市のものづくり技術と、新素材事業化研究会で開発された新技術の融合により、マルチマテリアル(軽量強度部材)素材を活用した世界最軽量の車いすを橋本エンジニアリング(株)が開発した。メインフレームには、成形や加工が困難なマグネシウム材を採用。表面処理も施した。世界最軽量5.1kgを達成した。



### 塗装色色違い検査装置

高解像度センサによる高速高解像度測定により、人目が感じる色と同様に色を認識することができる。今まで目視検査で実施をしていた自動車メーカーの塗装色の検査において、従来のカメラでは不可能であった正確な色の再現と微妙な色の違いを識別、定量化する検査装置を開発した。本技術の開発により、ダイハツ工業株式会社より「ものづくり技術賞」を受賞した。

HAMAMATSU CITY

# 遠州地域での広域連携（遠州広域行政推進会議研究会での検討事項案）

遠州広域行政推進会議（8市1町）で経済・産業政策の研究会を立ち上げ、今後検討を進める。Welcome to Hamamatsu

## ■検討テーマ案

### ①地域企業への支援

#### 人材育成

- 産業人材の育成

#### 企業活動支援

- 知的財産活用支援
- 防災対策支援
- 研究開発支援
- 創業支援、ベンチャー企業支援

#### 販路開拓（海外販路含む）

- 展示会・見本市の開催
- 中小企業のマッチング支援
- 地域企業情報の発信・PR

#### 情報発信

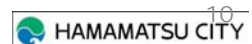
- 各種産業支援情報の発信

### ②行政間の連携

#### 自治体連携

- 職員間の情報交換
- 情報の共有化
- 地域産業の分析
- 国、県への提言
- 市町の産業振興担当職員の人材育成

※遠州広域行政推進会議とは、  
⇒遠州地域の8市1町による会議  
首長による会議のほか、連携テーマを決めて、  
担当部局同士の研究会などを展開  
今年度は、産業政策と公共交通がテーマ



# 浜松市での取組み（広域連携に結びつく可能性のある事業）

## ①地域企業への支援

※各市町の実況を報告し、広域連携事業を検討を始めた段階（遠州広域）Welcome to Hamamatsu

	項目	実施内容
人材育成	産業人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>中核人材育成事業、新素材・新成形技術講座等（イノベ機構事業（市委託））</li> <li>レーザー中核人材育成事業（光創成大、市）</li> <li>組み込みソフト技術コンソーシアム（静大、市）</li> <li>光産業創成プロデューサー育成事業（地域戦略事業）</li> </ul>
	知的財産活用支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>知財相談、知的活用講演会等（イノベ（市委託））</li> <li>はままつ知財研究会</li> </ul>
	研究開発支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>新産業創出事業費補助金（市）</li> <li>新素材（チタン、CFRP等）研究会（イノベ（市委託））</li> <li>浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション</li> <li>はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点</li> </ul>
	創業支援、ベンチャー支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業支援総合窓口の設置、起業セミナー・サロンの開催（イノベ、市）</li> <li>インキュベーション施設入居者支援</li> </ul>
	販路開拓	展示会・見本市の開催
マッチング支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>コーディネーターによるマッチング支援、展示会出展費補助（イノベ（市委託））</li> </ul>



# 三遠南信地域連携ビジョン 重点プロジェクト

(平成20年3月策定)



## 政策の基本方針 2：持続発展的な産業集積の形成

### ① 三遠南信ビジネスマッチングの推進

三遠南信地域の地域経済の活力を高め、県境を越えて企業間の交流を深め、新規ビジネスの創出を支援します。

#### 【活動イメージ】

- 三遠南信地域を対象としたビジネスマッチング機会を積極的に創出します。
- 信用金庫等の地域金融機関が連携して、企業・人材情報を蓄積し、企業交流を促進します。また、地域金融機関のサミットを開催します。
- 各地域で開催される産業展示会等では、三遠南信地域内の企業が積極的に参加できるようなPR活動を進めます。
- 県境を越えてビジネスプラン等を持つ企業の発表機会をより多く設けていきます。

#### 【推進主体とその活動】

- 浜松市、豊橋市、飯田市の各商工会議所が中心となり、三遠南信地域経済開発協議会や地域金融機関等の協力・支援を得ながら推進します。

### ② 国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進

「三遠南信」が知名度を高め、国内外へ向けた地域プロモーションを進めるため、三遠南信地域が一体化した人材・企業投資等の誘導戦略をつくり、人材・企業誘致活動を推進します。

#### 【活動イメージ】

- 国内外の将来性豊かな企業を対象とした誘致活動を推進します。
- 海外、国内他地域への情報発信力を強化するため、特徴ある産業集積、クラスター事業や、工業団地、企業立地優遇措置等について、複数言語によるポータルサイトの整備や、相談窓口の充実化を図ります。
- 企業誘致パンフレットの共同制作の検討等、企業誘致活動における連携活動を充実します。

#### 【推進主体とその活動】

- 自治体、商工会議所、商工会等が中心となって、活動を促進します。

### ③ 特徴ある産業クラスター拠点づくり県境を越えた事業連携

世界的な「ものづくり」地域として継続的な発展を続けるには、新規産業の育成が不可欠となっています。そのために特徴ある産業クラスターを形成するための拠点づくりと、県境を越えた事業連携を促進します。

#### 【活動イメージ】

- 特徴ある産業クラスターとして、オプトロニクス（光電子工学）クラスター、航空宇宙産業クラスター、食農産業クラスター、農工連携、医工連携等の広域拠点づくりを進めます。
- 自動車、鉄道などの輸送用機器や工作機械、ロボット等の産業を重点に、三遠南信全域を対象とした産業クラスターづくりを推進します。
- 各産業クラスターの強化を図るため、三遠南信地域や他地域からの企業参加等を積極的に誘導するためのポータルサイトの整備や、窓口・仲介機能を充実します。

#### 【推進主体とその活動】

- 三遠南信バイタライゼーション協議会が中心となり、はままつ産業創造センター、(株)サイエンス・クリエイト、(財)飯伊地域地場産業振興センター等と連携しながら推進します。

### ④ 三遠南信地域大学フォーラムの設置

三遠南信地域における人材の育成・定着、技術開発力の強化、文化や芸術の振興などに向けて、地域の総合的な学術研究機能や高等教育機能を高めるために、三遠南信地域の大学・研究機関等の連携を促進する三遠南信地域大学フォーラムを設置します。

#### 【活動イメージ】

- 大学間の意思疎通を高め、地域との連携を促進するために、三遠南信地域内の大学学長による意見交換の場を設けます。
- 単位互換等を促進することで、三遠南信地域の大学が連携した総合大学としての魅力を創出します。また、地域集積が高い農林業分野等について、新規大学の誘致を検討します。
- 大学の総合力を高めるために、各専門の枠を越えた研究者間の交流機会の創設、共同研究を促進します。
- 人材の地域定着を促進するために、県境を越えるインターンシップ事業を促進します。
- 地域との交流として、地域学の創設やコミュニティカレッジとしての役割を検討します。
- 三遠南信地域の戦略的な分野に関して、国際学会誘致など全国の大学や国外の大学との連携を支援します。

#### 【推進主体とその活動】

- 大学、自治体等が中心となって、運営組織を立ち上げ、活動を推進します。

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	6		
区分	技		
政策の基本方針	持続発展的な産業集積の形成		
項目	2-①		
推進方針	三遠南信ビジネスマッチングの促進		
主要施策	三遠南信地域の地域経済の活力を高めていくために、県境を越えて企業間の交流を深め、新規ビジネスの創出を支援します。		
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143
工程表	● 地域金融機関による連携事業の実施		● 平成26年度 20144~20153
	● 経済団体によるビジネスマッチング事業の実施	● 情報交換・発信機会の設置 企業交流の実施	
実施内容	<p>○三遠南信3シンクタンク連携協定 (H21.5.23)</p> <p>○ビジネスマッチングフェアinHamamatsuの開催 (H21.7.22、H22.7.21・22、H23.7.20・21、H24.7.24・25、H25.7.23・24)</p> <p>○三遠南信(8信金)しんきんサミット&amp;しんきん物産展 (H21.10.6、H22.11.13、H23.10.22、H24.9.15、H25.11.3)</p> <p>○平成21年度広域地方計画先導事業「商品評価会」(H22.3.12)</p> <p>○合同人脈・販路拡大交流会 (H21.7.22、H22.7.22、H23.7.21、H24.7.24、H25.7.23、H26.7.24)</p>		
推進主体	<p>&lt; 商工会議所・商工会、自治体、金融機関、企業 &gt;</p> <p>浜松市、豊橋市、飯田市の各商工会議所が中心となり、三遠南信地域経済開発協議会や地域金融機関等の協力・支援を得ながら推進します。</p>		

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	7
区分	技
政策の基本方針	持続発展的な産業集積の形成
項目	2-②
推進方針	国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進
主要施策	「三遠南信」が知名度を高め、国内外へ向けた地域プロモーションを進めるため、三遠南信地域が一体化した人材・企業投資等の誘導戦略をつくり、人材・企業誘致活動を推進します。
年度	平成23年度まで 20094~20123
工程表	平成24年度 20124~20133
	平成25年度 20134~20143
実施内容	平成26年度 20144~20153
推進主体	<p>人材・企業誘致活動の推進</p> <p>起業支援・人材育成事業の実施</p> <p>連携企業誘致活動の検討 ポータルサイトの整備、相談窓口の充実化の検討</p> <p>〇各市町村による人材・企業誘致活動の実施（随時）          〇三遠南信地域社会雇用創造成業の実施（H22.3.24~24.3.31）          〇三遠南信地域社会雇用創造成業フォローアップ事業の実施（H24~H25）          〇三遠南信地域資源情報データベースをSENAホームページに掲載（H23.6.6~）</p> <p>＜ 自治体、商工会議所・商工会、金融機関、企業 ＞          自治体、商工会議所、商工会等が中心となって、活動を促進します。</p>

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	8			
区分	技			
政策の基本方針	持続発展的な産業集積の形成			
項目	2-③			
推進方針	特徴ある産業クラスター拠点づくりと県境を越えた事業連携			
主要施策	世界的な「ものづくり」地域として継続的な発展を続けるには、新規産業の育成が不可欠となっています。そのために特徴ある産業クラスターを形成するための拠点づくりと、県境を越えた事業連携を促進します。			
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143	平成26年度 20144~20153
工程表	● 広域拠点づくり、産業クラスターづくりの推進 ● 三遠南信（浜松・豊橋・飯田）地域基本計画に基づく事業の推進（26年度まで）			
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○三遠南信バイタライゼーション協議会の各種事業の実施（～H21）</li> <li>○三遠南信クラスター推進会議の各種事業の実施（H22～）</li> <li>○光・電子技術イノベーション創出拠点支援事業の採択（H21.6.18）</li> <li>○地域イノベーション戦略推進地域に選定 浜松・東三河ライフオートニクスイノベーション（H23.8.1）</li> <li>○地域イノベーション戦略支援プログラムに採択される（H24.6.1）</li> <li>○三遠南信地域基本計画 同意（H22.3.25～H26.3.31）</li> <li>○三遠南信地域産業活性化協議会（浜松市・豊橋市・飯田市）の事業（H22～）</li> <li>○はままつ次世代環境車社会実験協議会による社会実験（H22.5.17～H24.8.31）</li> <li>三遠南信地域への活動エリアの拡大（H23.9～）</li> </ul>			
推進主体	< 産業支援機関、自治体、大学 > 三遠南信クラスター推進会議が中心となり、浜松商工会議所、豊橋商工会議所、はままつ産業創造センター、(株)サイエンス・クリエイト、(財)飯伊地域地域産業振興センター等と連携しながら推進します。			

第Ⅱ期重点プロジェクト工程表

平成26年9月30日時点

No.	9		
区分	技		
政策の基本方針	持続発展的な産業集積の形成		
項目	2-④		
推進方針	三遠南信地域大学フォーラムの設置		
主要施策	三遠南信地域における人材の育成・定着、技術開発力の強化、文化や芸術の振興などに向けて、地域の総合的な学術研究機能や高等教育機能を高めるために、三遠南信地域の大学・研究機関等の連携を促進する三遠南信地域大学フォーラムを設置します。		
年度	平成23年度まで 20094~20123	平成24年度 20124~20133	平成25年度 20134~20143
工程表	<p>連携組織設置の検討・準備</p> <p>大学フォーラム準備検討会の開催（愛知大学、豊橋技術科学大学、静岡文化芸術大学の学長等による検討）</p> <p>大学フォーラム準備検討会</p> <p>大学シンポジウム開催準備会</p> <p>大学シンポジウム</p>	<p>大学連携検討会議</p> <p>三遠南信地域産学官人財育成円卓会議の開催</p>	<p>平成26年度 20144~20153</p> <p>↑</p>
実施内容	<p>○大学フォーラムの設置に向けた検討会議の開催（H22.7~H23.4 3回開催）</p> <p>○大学シンポジウム開催準備会の開催（H23.7~H24.2 4回開催）</p> <p>○三遠南信地域大学シンポジウム開催（H23.10.24）</p> <p>○三遠南信地域における官民連携主体による地域づくり推進事業（国土交通省事業）（H23~H24）</p> <p>○三遠南信地域産学官人財育成円卓会議の開催（H25.2.1、H26.2.17）</p>		
推進主体	<p>△ 大学、企業、自治体、商工会議所・商工会、住民団体</p> <p>△ 三遠南信地域をフィールドとする大学等を中心に、事業内容を検討します。</p>		